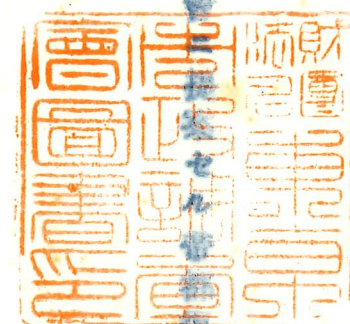


第四十七編會二 經入せ九管領長興豫算決定二 五九 經緯



034620

第四十七議會ニ提案セル帝都復興費算決定ニ至ル経緯

政府ハ第四十七議會ニ於テ帝都復興費算決定五億七千四百八十一萬六千〇四十九圓ヲ大正十二年度以降六ヶ年度ノ繰越費トシテ提出シタリ然ルニ衆議院ニ於テハ審査ノ結果之ヲ否定シテ四億六千八百四十三萬八千八百四十九圓ト決定セリ政府提案ニ比シ削減額實ニ一億六百三十七萬七千二百圓也

一方事務費ニ於テ大正十二年度分トシテ追加要求セル七十萬二千四百十圓ハ其金額ヲ削減セリ

右衆議院ニ於ケル査定ニ就テ具サニ其内容ヲ按スルニ

東京復興費ニ於テ總額

九千六百十一萬四千六百圓

内 訳

六千四百三十六萬四千六百圓

街路費

三千百七十五萬圓

土地整理費

ヲ減シ

削減復興費ニ於テ

一千二十六萬二千六百圓

内 訳

六百三十四萬五千六百圓

街路費

三百九十一萬七千圓

土地整理費

ヲ減シタリ

土地整理ニ關シテハ政府提案ノ主義ニ反對シタルニアラス唯實行方法ニ變更ヲ加ハタル結果區劃整理ハ其一部ヲ圖ニ於テ執行スルニ止ムルコトニ改メ額ニ三千五百六十六萬七千圓ノ削減ヲ見ルニ至レリ

右土地整理ニ關スル費用削減ノ理由ハ政府提案ノ如ク此整理ニ依ル受益者ノ土地

一部ノ提供ハ所有權ニ關スル範圍ヲ存シ我國ニハ經驗ナキ事業ナルヲ以テ之ヲ變
失區域ノ全般ニ施行スルコトハ事難容易ナラスト認ムルニ付此種酌實行ノ可能性
アリ又幾少ナキ方法ヲ取ルヲ可トスヘク即大体现行法ニヨリ地主組合ヲシテ之
ヲ行ハシムルヲ本義トシ以例外トシテ街路修築上必要ナル場合例ヘハ廢地處分其
他止ムナキ場合ニ起ルヘキ地區整理ノミ之ヲ政府ニ於テ行フコト、セシムルノ主
旨ニシテ停止意見ハ地區整理ヲ全ク否認スルモノニハアラスト雖モ範圍ヲ必要且
實行可能ノ程度ニ止メシメントス即整理上困難ヲ伴ヒ且短期間ニ之ヲ進行シ難キ
部分ハ之ヲ組合ノ自治ニ委セントスルニ在リ、此主張ヲ以テ政府力街路修築上必
要部分トシテ東京ニ於テ約百萬坪橋樑ニ於テ約三十萬坪合計約百三十萬坪ニ區劃整
理ヲ行フコトヲ認メントス從テ之ニ要スル以外ノ經費合計三千五百六十六萬七千
圓ヲ削減スト云フニ在リ

例即實ハ大体现政府ノ計畫ニ依リ十二區以上ハ廢築ニ迫ヒ十二區以下ハクヲ自治体ノ
執行ニ安ネ此修正ノ爲七千餘萬圓ヲ削減シタルモ自治体ニ割シテハ其經費ハ無利す
實收及補助等ヲ算スヘキ意義ナルヲ以テ事業ノ進行ヲ妨クルノ意ナキモノト認ム
右例即實ニ就テハ政府費集中十二區以下ノ道路ニ割スルモノハ政府ハ計算ヲ不セ
ルニ趣キサルヲ以テ土地整理ト相俟ツテ之ヲ行ハシムルヲ可トスヘク必スシモ
自ラ之ヲ執行スルノ必要ヲ認メス宜シク獨立セル地方自治体ノ權限ニ委シテ之ヲ
執行セシムヘク國ハ只適當ニ之ヲ援助スルノ方針ヲ取ルヘキヲ至當ナリトス
テ之ヲ地方自治体ニ委スルノ結果トシテ東京市價ノ街路費中ヨリ凡二割ヲ削減シ
合計七千七百一十一萬二百圓ヲ國ノ經費ヨリ節約セシムヘシト云フニ在リ而シテ右前
載ハ決シテ之ニヨリ帝都ノ復興事業ヲ助揚セントスルノ意味ニアラス此削減アリ
ト雖モ事業進行者ハ事モ其進行ヲ妨ケラル、コトナカルヘシ要之本修正ハ(1)自治
体ノ自治權ヲ尊重シ其ノ尊嚴ヲ輕サス(2)事業實行ノ難易ニ考慮ヲ拂ヒ以テ此削減
ヲ決定シタルモノニシテ何等ノ不合理ナク又實行不可能ニアラサル體格ノ下ニ決

定セルモノナリト

事務費ハ復興院要求額ノ全部ヲ削除シタルモ内閣府屬ヲ内務省所管ニ改メ追加費算トシテ要求セラルヘシトノ意見ナリト認ム

右事務費ニ就テハ復興院費ノ全部ヲ削除シタルハ必スシモ復興事業ニ實際上必要ナル事務費ヲ削除スルノ意味ニアラス、如上修正費算ノ進行上最早現官制ノ如ク内閣府屬ノ組織ヲ必要トセス則モ事業ノ内容ニ就テ之ヲ見ルニ事ハ各省ノ主管ニ屬スヘキ性質ノモノ多キヲ以テ寧ろ内務省ノ一部局トシテ之ガ執行ニ當ルヲ適宜ニ裁減ナリト認ムルノミナラス事業遂行上ノ便宜且利益アルヘキヲ信スルヲ以テ是等ナル内閣府屬ノ事務費トシテ之ヲ要求スルニ於テハ何等異議ヲ稱ムヘキモノニアラス、宜シク追加費算トシテ成ルヘク切實ノ有知ニ具體的ニ事業ノ進捗ヲ圖ル意味ニ於テ之ヲ要求セラルヘシト云フニ在リ

是上承議院ノ修正ハ改惡ニシテ却テ實行上ノ不便小利ヲ生シ進行困難費増加ヲ生タハコト明カニシテ市民ノ蒙ルヘキ損失亦大ナリト云ハサルヲ得ス然レトモ其真利ハ如何小可能ニアラサルヲ以テ政府ハ反覆考慮ノ結果止ムヲ得サルモノトシテ之ニ同意セリ

之ヲ安スルニ政府力同意ヲ決意スルニ至リシ主ナル理由ヲ挙クレハ

一、政府若此修正ニ同意セサル場合ハ自然衆議院ヲ解散スルノ外途ナカルヘクカクテハ法定ノ手續ヲ經テ普通選舉ヲ行ヒ次期議會ノ成立スルニ至ルマデハ復興費算ノ確定ヲ見ルコト能ハサルヘク其間少ナクモ牛歳ノ日月ヲ徒費スヘクカクテハ現下罹災住民カ一日モ建カニ復興計畫ノ確定ヲ見其生活上ノ安定ヲ期圖セントスルノ無算ヲ輕視セシメ市民ノ不安ヲ免レシムルコト能ハサルヘクカクテハ大體ノ旨ニ副フ所以ニアラス政府トシテモ亦數ニ忍ヒカクキ事難ナルコト

二、衆議院ノ意見ハ其數巨額ナリト雖モ之畢竟實行ノ所管主体ヲ移スニ當キス、地方自治体ニ於テ之ヲ行フ場合ハ國力之ヲ補助スルヲ否定セサルヘキハ前修正理

由ニ徴シテ明ナリ、即チ自治体自ラ之ヲ行フノ意志ヲ表示シ、必要ナル補助ヲ國ニ要求スル場合ハ此經費ニ協賛ヲ務ムモノニアラサルコトヲ明ニセラレタリ、且ヨリ國自カラ之ヲ執行スル場合ト便否同日ノ論ニアラサルヘキモ結果ニ於テ事案ノ進行力阻礙セラレサル限り政府ニ於テハ之ヲ讓歩スルヲ止ムヲ得スト認メタリ

三、第一項ニヨル政府不同意ノ場合ニ於ケル議會ノ解散ニ際シテハ必要ナル經費ノ支出ハ議會ハ緊急勅令ニ依ルノ外ナカルヘシ然レトモ凡ソ如此場合ニ於ケル支出ハ性質上縣ル局限的ノモノナルヘキニ依リ之ニ依ツテ必要ノ經費支拂ニ事セントセシカ必スヤ法令運用ノ善例トナスヘカラサルモノアラム從ツテ如此經濟ハ嚴ニ之ヲ避ケサルヘカラス

四、米穀既ノ修正ハ政府當局ノ願ル善端トスル處ナルモ市郡復興ノ基盤ノ確立ニ就テハ必スシモ根本的ノ効ケナキモノト認メタルコト（此等後段ニ詳説スヘシ）

以上ノ四理由ニ依リ政府ハ該案定ニ同意ヲ與ヘタリ、今本縣與カ管轄ノ復興計畫ヲ將來ニ入成スルニ就テ大体ニ於テ國ヨリ障害ナシト云フヲ得サレトモ復興ノ基盤依然ナシムルニ堪ユヘシトスル理由ニ就テハ茲ニ一言ヲ贅ヤスノ必要ヲ覺ル以下之ヲ略説スヘシ

財政用力今國ノ復興計畫ヲ指ツルニ當リテ第一ニ當面セルハ這次ノ大水災ニヨル被害ノ極メテ廣大激甚ナリシコト且將來此災害ヲ避クルノ途ヲ謀スルハ只今日ニ在ルコト之ナリ、次ニ如此結果ニ到達セルコトニ就テハ從來ノ都市計畫ノ規模及其進行ニ就テ頗ル遺憾ノ點多カリシコトナリ、次ニ財政ノ狀況カ當ニ不整ニシテ都市他年ノ長計ヲ確立スルニ便ナラザリシコト實ニ其ノ遺憾タリ、若シ之ヲ復ノ復興ヲ第一トスル意見ニ放任セハ獨リ舊有ノ計畫ヲ永年ニ貽スノミナラス管轄復興ノ端ヲ模範スルノ因タルヘシ況ンヤ管轄ハ其性質及位置上實ニ我國政治經濟及文化ノ中心ニシテ這次ノ被害ノ如キ其地方ノ人心、經濟ニ及ボス影響ノ重且大ナルハ日ヲ遷フテ愈

明瞭トナルニ至リ之ヲ單ニ一首都ノ範圍タルニ止ムル能ハサルコトノ點ヲ察スル
モノアルニ於テオヤ、政府ハ夙ニ此點ニ留意シ先ツ案ヲ定メテ種々理想的政策ヲ得
タルモ一面國家財政ノ現況及其將來ニ關ラシテ之ト嚴格ナル協議ヲ保持テ一步理想
ヨリ現實ニ移リ各方面ニ互リ反覆研究ノ末最急務中ノ急ナルモノニ對リ自餘ハ之ヲ
他日ノ發展ニ懸スルコトトシ終ニ第四十七議會提出ノ法案ヲ得ルニ至レリ
政府當局ノ種々理想的案トシテ當初考慮セルモノハ東京橫濱ノ兩都市復興ノミニテ實
ニ加算十七億圓ニ上リシモ之ヨリ電車線路費、地下埋込物費、高壓防火水道費、台
計一億九千万圓ヲ除ケハ東京橫濱ヲ通シテ概算十五億圓ノ計畫トナルヘク之ニ中央
政府補助ニ依ルヘキ、アラユル政治都市關係事業ノ一切ヲ二十億圓ト算スレハ概
算三十五億圓ヲ要スヘシ此當初ノ概算ハ今日ニ於テモ概ネ其實ヲ得タルモノナルヲ
疑ハス

又右十五億圓計畫中ヨリ地下鐵道凡二億圓ヲ除ケハ十三億圓方圓トナリ爾後參事會
計議會ヲ經テ概算七億二百九十七万七千九百八十一圓ト計上シ一日附屬ノ校閱ヲ經
タルモ後復興審議會ノ意見ニ相ヘ異ニ關關ニ於テ概算五億九千七百七十四万七千九
百五十二圓ニ修正セリ、右ノ内奉養費ニ該當スヘキ金額二千二百九十三万一千圓ハ之ヲ
總額算トナサス毎年其所要額ヲ要求スルコトトシ不取敢大正十二年度追加算トシ
テ算七十万二千四百十圓（調査及研究費ヲ含ム）ヲ要求スルニ至レルコトハ茲ニ記
述セルトコロノ如シ

今十七億圓計畫ノ大綱ヲ參クレハ次の如シ

首都復興十七億圓案

街路費 六五〇、〇〇〇、〇〇〇圓

建築費 五〇、〇〇〇、〇〇〇

市内河川費 六〇、〇〇〇、〇〇〇

京濱運河費 一五、〇〇〇、〇〇〇

港費(河口改修)

三五、〇〇〇、〇〇〇

上水道費

五、〇〇〇、〇〇〇

下水道費

一一〇、〇〇〇、〇〇〇

廃棄物処分費

一〇、〇〇〇、〇〇〇

燃料費

六〇、〇〇〇、〇〇〇

公園費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

公園整備費

四〇、〇〇〇、〇〇〇

事務費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

竹園

一、〇九五、〇〇〇、〇〇〇

供排水費

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

雑費

一、二九五、〇〇〇、〇〇〇

凡外

地下線建設費

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

地下線

一、四九五、〇〇〇、〇〇〇

又ニ

電車費(路面)

六〇、〇〇〇、〇〇〇

地下埋設物費

九〇、〇〇〇、〇〇〇

高圧水道費

四〇、〇〇〇、〇〇〇

田

一九〇、〇〇〇、〇〇〇

(通 司)

一、六八五、〇〇〇、〇〇〇

(大数ニヨリ十七億圓案トス)

如上所載ニ就テ通算スレハ今回ノ確定算ニ於テ主要ナル街路ノ修築新設ヲ見タル
 陸上財政ノ状況ニ應ジ自給自足ニ依ルヘキ事業即電車(高速度車路面)ノ如キハ
 當ノ時機ニ於テ之カ完成ヲ期スヘク修繕以外ノ山手方面ノ増設ニ於ケル現狀修繕

給ヲ始メ下水設備ハ勿論公園地城ノ如キモ財政状態ノ推移ニ應ジ漸次其實現具體化
ヲ期スヘク今日ニ於テ基礎タリ根幹タル復興計画ニシテ當局ノ意圖ト市民の望者ノ
熱望ナル後援ニヨリテ之ヲ遂行スルコトヲ得ハ他ハ自カラ時日ノ経過トシテ解決ノ
日アルヲ期スヘク所謂規模ハ大ナルヘク實行ハ財政其他都市ノ經濟生活ノ現狀ト連
關ニ相修始スヘシトノ興隆ハ其遂行ヲ阻礙スルヲ得ヘシト爲ス
如上来議院ヲ通過セル豫算修正案ハ更ニ貴族院ニ送付可決セラレ茲ニ第四十七議會
ニ於ケル中心問題タリシ復興豫算ハ其確定ヲ見タリ
貴族院ニ於テハ本案可決ノ際希望條件ヲ附帯決議セリ、復旨ハ本案ヲ以テ尙不爲ノ
如アリトシ他日財政ノ狀況ニ應ヘ更ニ適當ノ改善擴張ヲ行ヒ以テ都市復興ノ實ヲ全
フスヘシト云フニ在リ是等ヨリ政府當局ニ於テ興議アルヘキコトニアラス、將來同
等元ヲ出ネ今後ニ善處スルノ方圖ヲ臨ラス上ハ 臣等ニ應ヘ奉リ下擲貴市民ノ復興
ニ就テ取書ノ努力ヲ致サムコトヲ期セリ

大正十二年十二月二十四日

